

第6章 第1期障がい児福祉計画

第6章 第1期障がい児福祉計画

1 障がいのある子どもへの支援の提供体制の整備について

障がいのある子どもへの支援の提供体制の確保にあたっては、計画の基本理念、基本的な考え方を踏まえ、次の点に配慮して数値目標を設定し、計画的な整備を行います。

◆障がいのある子どもへの支援の提供体制の整備等

障がいのある子どもについては、保育、教育等の利用状況等を踏まえ、居宅介護や短期入所等の障がい福祉サービス、障害児通所支援等の専門的な支援の確保及び共生社会の形成促進の観点から、保育・保健・医療・教育・就労支援等の関係機関とも連携を図ったうえで、障がいのある子ども及びその家族が、乳幼児期から学校卒業まで一貫した効果的な支援を受けられる体制の構築が重要とされています。

そのための方策として、地域支援体制の構築、保育・保健・医療・教育・就労支援等の関係機関と連携した支援、地域社会への参加・包容（インクルージョン）の推進、特別な支援が必要な障がいのある子どもに対する支援体制の整備などが考えられます。

2 平成32年度における目標値の設定

本計画では、障がいのある子どもへの支援の提供体制の整備について、国の基本指針に則し、平成32年度における目標値を設定します。

(1) 児童発達支援センターの設置

国の基本指針では、平成32年度末までに児童発達支援センターを、市町村ごと又は圏域ごとに、少なくとも1か所以上設置することとしています。

市では、平成32年度末までに、市又は東備地域自立支援協議会圏域（以下「圏域」という。）において児童発達支援センターを1か所整備することを目標とします。

(2) 保育所等訪問支援を利用できる体制の構築

国の基本指針では、平成32年度末までに保育所等訪問支援を利用できる体制を、すべての市町村において構築することを基本としています。

市では、平成32年度末までに、市又は圏域において保育所等訪問支援を利用できる体制を構築することを目標とします。

(3) 主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所の確保

国の基本指針では、平成32年度末までに主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所を、各市町村又は圏域に少なくとも1か所以上確保することとしています。

市では、現在ある重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所と連携し、支援のさらなる充実を図ります。

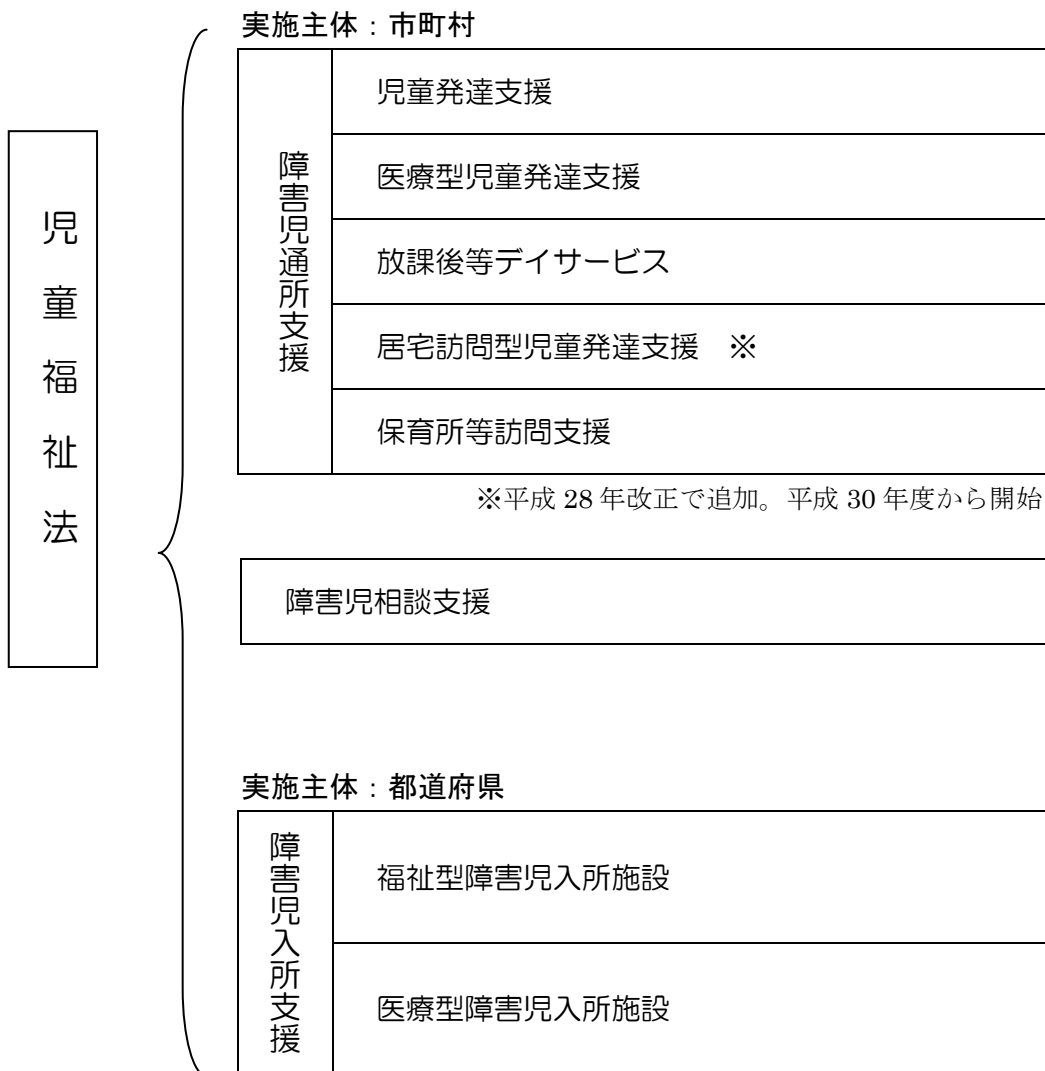
(4) 医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置

国の基本指針では、平成30年度末までに各市町村又は圏域において、保育・保健・医療・教育・福祉等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設置することとしています。

市では、医療的ケア児支援のため、平成30年度末までに市又は圏域において、保育・保健・医療・教育・福祉等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設置することを目標とします。

【目標達成に向けて】

- 児童発達支援センターの設置については、県などの関係機関と連携を図り、事業所等へ働きかけます。
- 保育所等訪問支援については、事業所等への働きかけのほか、教育・保育機関との連携に努めます。
- 重症心身障がいのある子どもを支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保については、すでに1か所ありますが、支援の拡大にむけて事業所への情報提供や情報交換など、今後も連携強化を図ります。
- 医療的ケア児の支援のための関係機関の協議の場の設置については、保育・保健・医療・教育・福祉等の関係機関との連携強化に努めます。



4 障がいのある子どもへの支援の見込み

(1) 障がい児通所支援

ア 児童発達支援

集団療育及び個別療育を行う必要があると認められる未就学の障がいのある子どもに、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を提供します。

イ 医療型児童発達支援

い肢体不自由があり、理学療法等の機能訓練又は医療的管理下での支援が必要と認められる障がいのある子どもに、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援と治療を提供します。

ウ 放課後等デイサービス

就学している障がいのある子どもに、学校の授業終了後や学校の休校日に児童発達支援センター等の施設において、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進などの支援を提供します。

エ 居宅訪問型児童発達支援

重度の障がいにより、外出することが困難な障がい児に、自宅にて日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を提供します。

オ 保育所等訪問支援

保育所等を訪問し、障がいのある子どもに、集団生活への適応のための専門的な支援を提供します。

【障がいのある子どもへの通所支援の見込み量】

区 分	単 位		H28年度 (実績)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	児 童 発 達 支 援	実利用人数	人/月	9	9	9	10
サービス量		人日/月	32	48	36	40	44
医 療 型 児 童 発 達 支 援	実利用人数	人/月	0	0	0	0	0
	サービス量	人日/月	0	0	0	0	0
放 課 後 等 デ イ サービス	実利用人数	人/月	28	28	40	45	50
	サービス量	人日/月	210	279	400	450	500
居 宅 訪 問 型 児 童 発 達 支 援 【 新 規 】	実利用人数	人/月	-	-	1	2	3
	サービス量	人日/月	-	-	1	2	3
保 育 所 等 訪 問 支 援	実利用人数	人/月	0	0	1	1	2
	サービス量	人日/月	0	0	1	1	2

※障害者総合支援法施行後の数値を基礎として、平成30年度から平成32年度までの見込み量を推計しています。
※平成29年度は実績見込み数値です。

【見込み量と実績及び今後の見込み等の考察】

発達障がいやその疑いのある子どもの療育希望の増加に伴い、サービス量が増加しています。現在も利用希望はあるものの、事業所の空きがなく利用できていない子どももいるため、今後のサービス量は増加するものと見込まれます。また保育所等訪問支援や居宅訪問型児童発達支援についても利用ニーズはあるため、事業所が増加すれば利用者が増加すると見込んでいます。

【見込み量確保のための方策】

- サービス量の確保ができるよう、関係機関と連携し、施設整備を促進します。
- 発達障がい者支援事業と連携して保護者支援を充実させ、サービス利用の啓発を行います。

(2) 障がい児相談支援

障がいのある子どもについて、障がい福祉サービスを利用するため、子どもの心身の状況や環境、子ども又はその保護者のサービス利用についての意向等に基づいた障がい児利用計画の作成とサービスの利用状況の検証及び計画の見直しを行います。

【障がいのある子どもへの相談支援の見込み量】

区 分	単 位		H28年度 (実績)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	実利用人数	人/月	4	5	6	8	10
医療的ケア児支援調整 コーディネーター数【新規】	実利用人数	人/月	-	-	0	1	1

※障害者総合支援法施行後の数値を基礎として、平成30年度から平成32年度までの見込み量を推計しています。
※平成29年度は実績見込み数値です。

【見込み量と実績及び今後の見込み等の考察】

サービス提供事業所の増加に伴い、利用者は増加しています。
今後もサービス利用者が増加すると見込まれることから相談支援の利用者も増加すると見込んでいます。

【見込み量確保のための方策】

- サービス利用者数は増加していますが、相談支援員数は横ばいになっています。
- 今後は相談支援員の増員を促すと共に、相談支援業務の効率化も目指します。

資料 アンケート調査結果の概要（障がい児福祉について）

【調査実施の概要】

実施時期：平成 29 年 9 月

調査対象：備前市内に居住する 18 歳未満の次の人の保護者（無作為抽出）

- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を交付された人
- ・福祉サービス受給者証を交付された人

回収率：64.2%（27 件／42 件）

【調査結果の概要】

第一部：お子さんについて

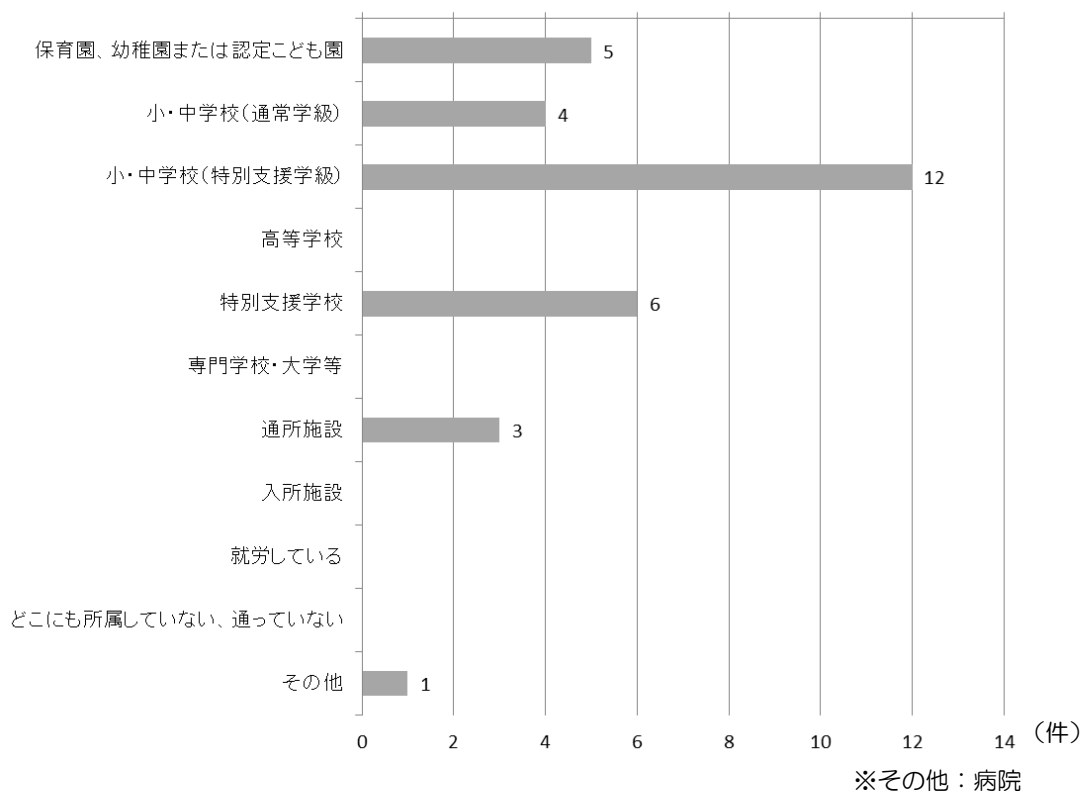
1-1 お子さんの年齢（平成 29 年 4 月 1 日時点）

0～5 歳	6～11 歳	12～14 歳	15 歳以上
5 人	14 人	4 人	4 人

1-2 お子さんが現在お住まいの地域

備前地域	日生地域	吉永地域	その他
20 人	6 人	1 人	0 人

1-3 お子さんが現在 主に所属している所、通っている所（複数回答）

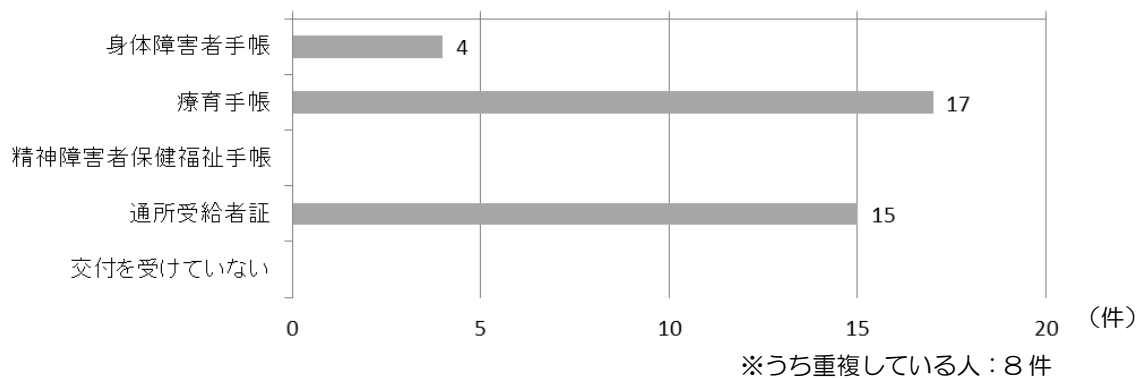


1-4 それ(1-3で回答した「お子さんが現在 主に所属している所、通っている所」)は、市内、市外のどちらにありますか。

ア. 市内 14件(51.9%) イ. 市外 4件(14.8%)

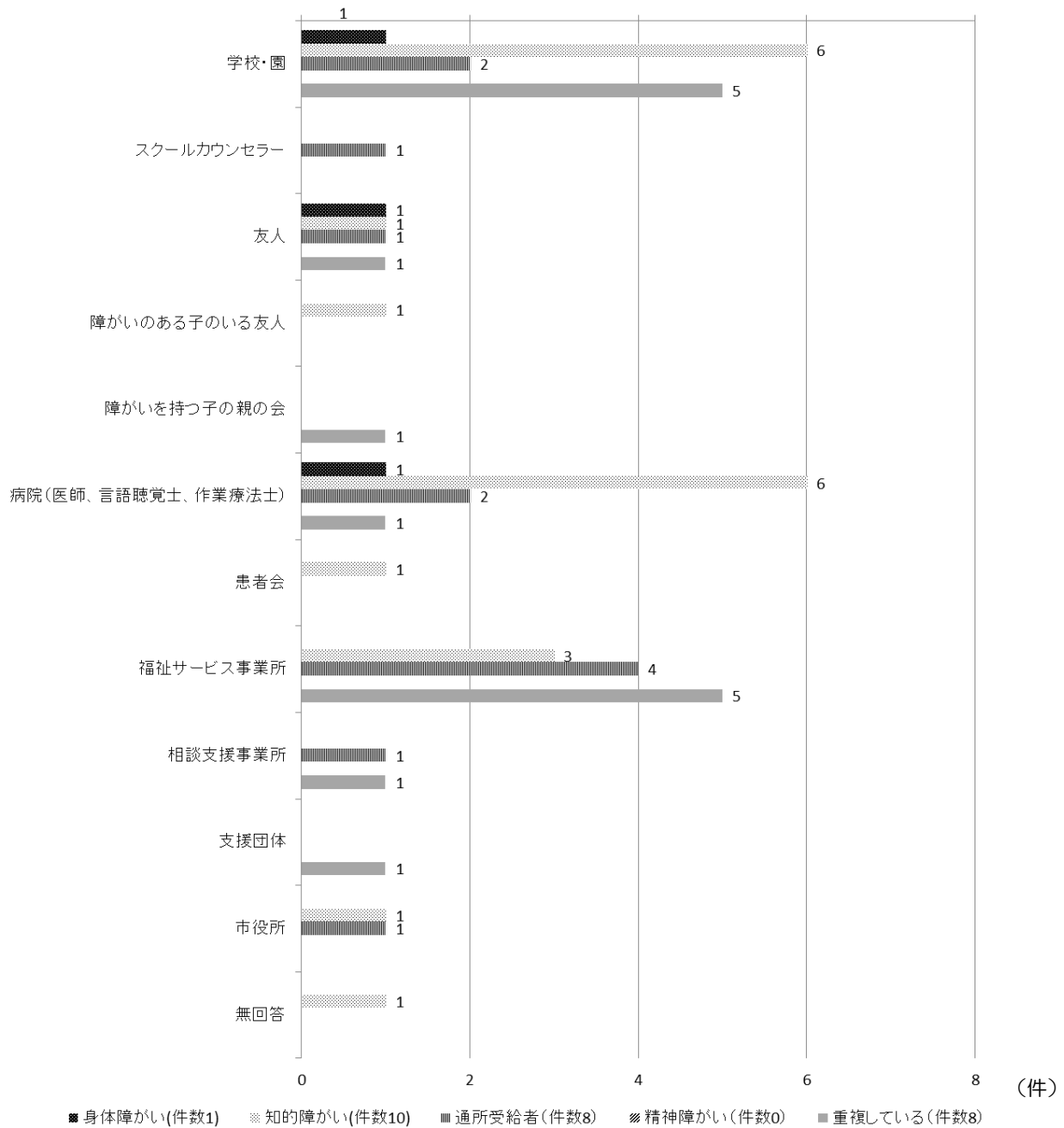
※無回答 9件(33.3%)

1-5 お子さんが交付を受けている手帳や受給者証の種類(複数回答)



第二部：相談について

2-1 あなたやお子さんは、現在どこに（誰に）相談をしていますか。（複数回答）



2-2 2-1で記入した相談先について、どのように感じていますか。

ア. 満足している 22件(81.5%)…身体1件、知的9件、通所6件、重複6件

イ. 満足していない 3件(11.1%)…通所1件、重複2件

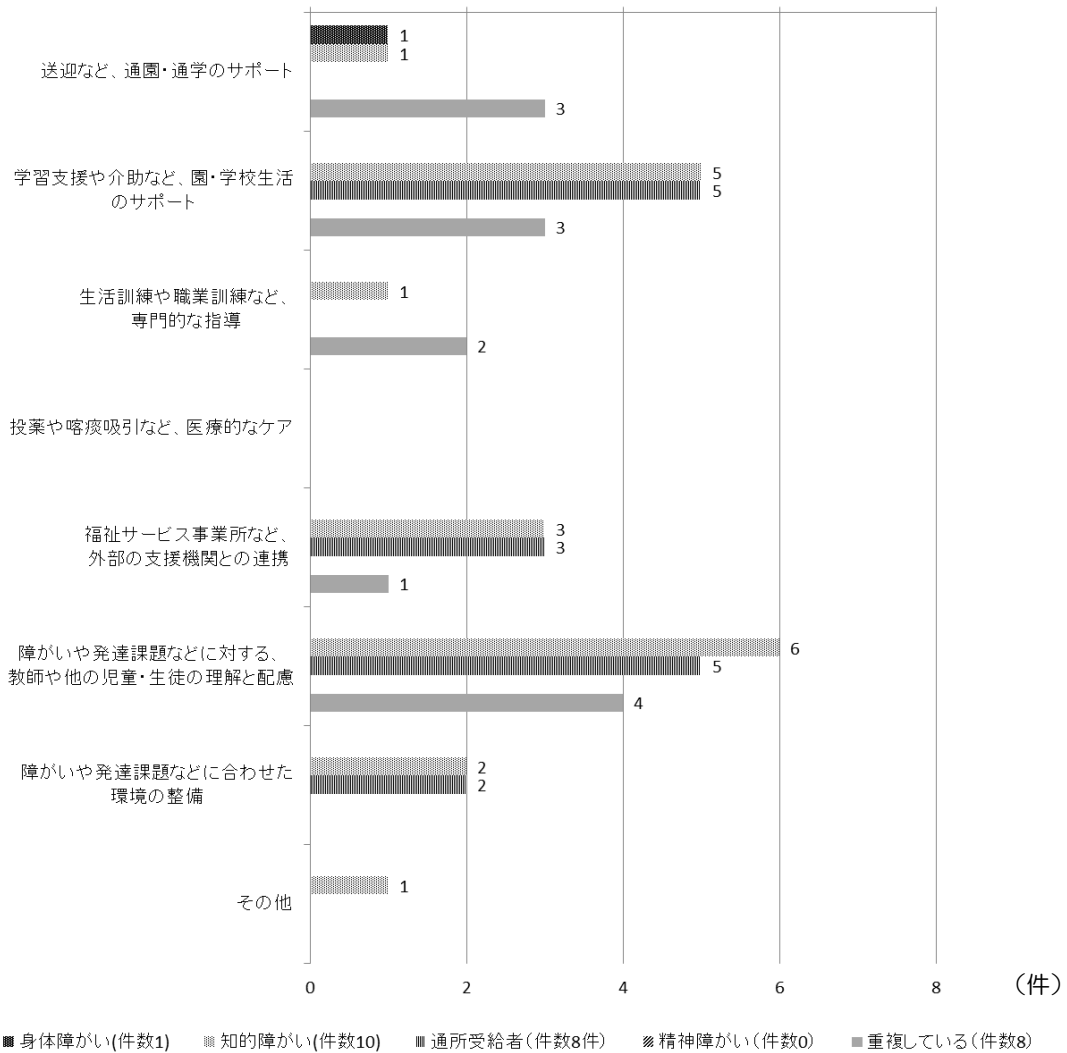
※無回答 2件(7.4%)

【ご意見】「相談」について（自由記述・原文のまま）

<p>専門的な人になかなか相談できない。専門的な人には時間を予約しないと相談できない。岡山市内の人が多い。総合的な（福祉制度、人生設計のすべてをまとめて相談できる人が少ない。</p>
<p>同じ経験をしてきた先輩保護者に相談がしたい。講演会のような大きな場ではなく、直接話を聞いて質問できるような場があればいいと思う。</p>
<p>いろんな方々の話が聞きたい。特に高等学校やそれ以降について、話を聞きたい。</p>
<p>病院だと15分という間のみの受診で短い。また通級が備前市はなく、補助してくれる場所が少ない。通級ができないのもう引っ越したい。6年耐えましたが、備前市は身体障がいに対するサポート体制がうすい。</p>
<p>同じ地域の障がい児、病児の保護者と話がしてみたい。支援センターなどはまだまだ健常対象にしか思えないので。</p>
<p>学校にいろいろと相談したいが、専門性がないので学校も一緒に悩む必要がある。学校は専門機関と連携して、前向きに問題解決にとりこんでほしい。 学校の先生はチームを組んで、勉強・情報交換をしてほしい。問題がおきたときは、1つの学校内で解決しようとせず、知恵を出しあい、チームで解決してほしい。支援学校にもっとノウハウを提供してほしい。学校の支援学級内で悩んでいることも支援学校に相談すれば、それは悩みではなく、すぐに解決策がある場合がある。保護者の心配事を大丈夫ですよとけとめてほしい。現状は「心配ですね」と言われてしまうので。</p>
<p>同じ経験をしてきた先輩だけでなく、同世代の子をもつ保護者と「育児あるある」について話してみたいです。保育園のクラスの保護者も悪い人ではありませんが、子どもの話題は言いづらいです。身近に同じ思い、立場の親がおらず、なんとなく孤立感があります。</p>
<p>市役所⇄相談支援間の連携をきちんとしてほしい（受給者証の変更を忘れられていた）。先輩保護者の中でも、支援学校ではなく支援学級に在籍している子どもの保護者と話をしたい。1回参加したが、相談をして一般的な返答しかかえってこなかったで……。もっと少人数で子どもの年齢に近い親と話がしたい～！と思うことがある。 EX. 備前地域の小学校の特別支援学級に子どもが在籍している保護者の茶話会など</p>
<p>岡山県自閉症児を育てる会など、くわしく知りたい。備前地域でのセミナーや講演をしてほしい。</p>

第三部：幼児期、学齢期について

問3-1 お子さんが園や学校に通ううえで、あなたが求めること（複数回答）



問3-2 問3-1で選んでいただいたことの現状について、どのように感じていますか。

ア. 満足している。不安はない。 9件(33.3%) …知的3件、通所3件、重複3件

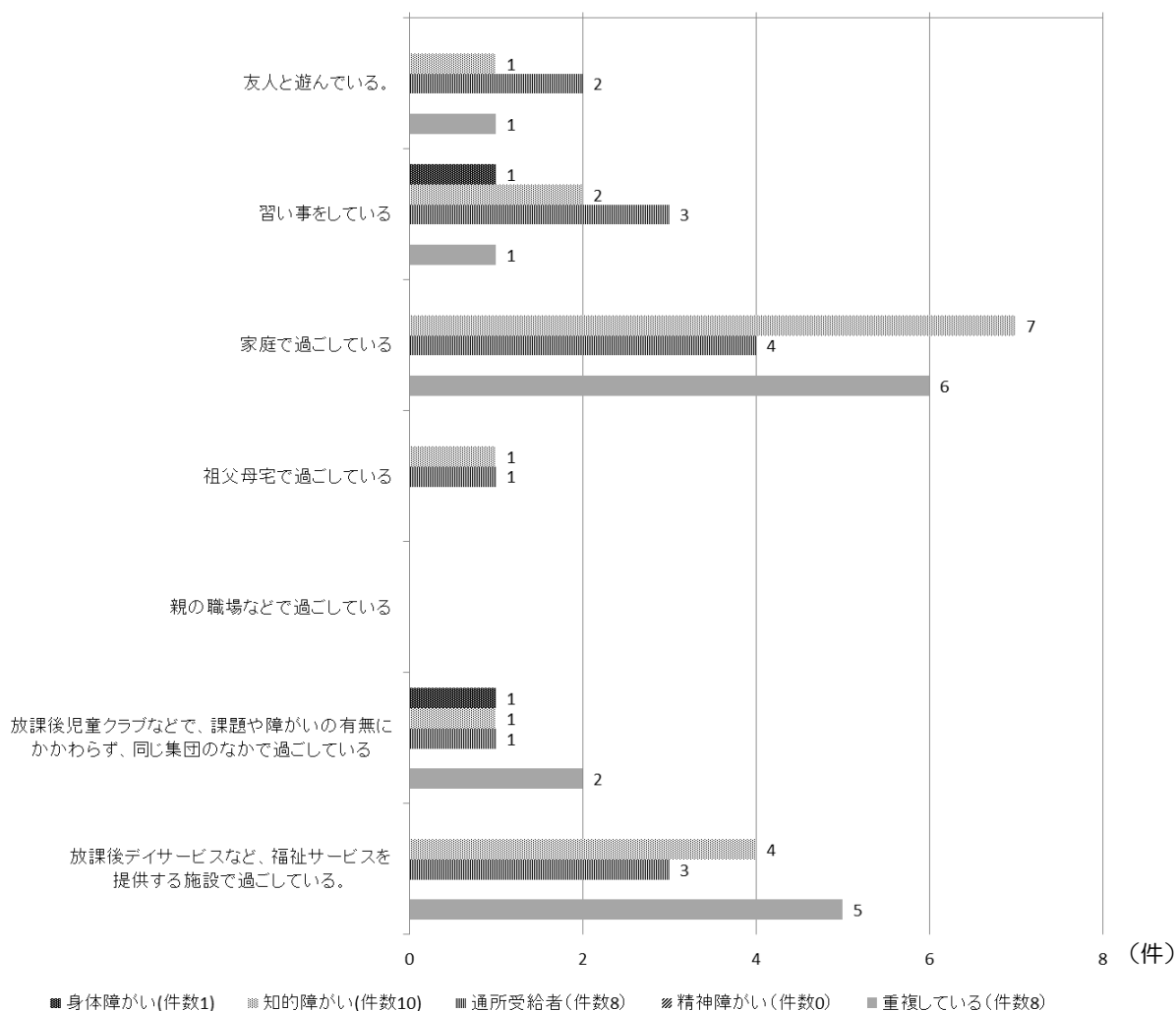
イ. 満足していない。不安がある。 18件(66.7%) …身体1件、知的7件、通所5件、重複5件

【ご意見】「保育園、幼稚園や学校の支援や環境」について（自由記述・原文のまま）

<p>先生方に満足していないわけではなく、常に（今後の事なども）不安で心配で仕方ないです。園や学校など、どの場面においてもサポート（担任以外に）してくれる先生を学年に1人はつけてもらえるようにしてほしいです。園や学校に専門の先生（心理の先生や言語の先生など）を決めていつでも相談できて、という環境ができればと思います。自分からはなかなか市役所に電話したりできない人もいるし、もっと身近な感じで相談場所があるといいなと思う。</p>
<p>通学するのが遠い。毎日の送り迎えが大変。</p>
<p>上記（送迎）以外のことでの不満は全くありません。上記のことは、このようなサポートがあればありがたいという程度です。</p>
<p>本人が苦手とする部分に寄り添ってサポートしてくれる人（先生）がいるとよい。勉強以外の部分＝朝の登校後準備など。（連絡帳、宿題提出、ファイリングなどができない。）</p>
<p>教員の不足。補助費増加。スクールカウンセラー（緩和になってくれる存在）が必要。また障がいがある子への十分な理解をし、専門的に学んでいる人手がないので、少しのトラブルへの対応へも職員の人出不足を感じ、とても生きづらい。</p>
<p>根本的な障がい者に対する偏見をなくす講演とか、障がいを知ってもらう場があると思う。</p>
<p>子どもに合ったちょうどの学習・環境を これで適切か検討できるよう個々の学校に任せるのではなく専門性の高いチームをつくり 学期ごとぐらいで検討会などをつくってほしい。</p>
<p>これから就学ですが、支援級に入る場合、入学前に学校側と打ち合わせや体験入学をさせてほしいです。担任の先生には、障害についての理解のある人をお願いたいです。←当たり外れが大きいと聞きます。</p>
<p>保育士を増やしサポートしやすい、生活しやすい環境を整えてほしい。</p>
<p>個々に応じた支援がされているのか、場面によって疑問に感じることもある。</p>
<p>こういう療育施設がありますよ、セミナーがあるよ、など情報があればパンフレットなどを園や学校にも配布してほしい。</p>

お子さんの、下校後や長期休暇時などの過ごし方について

3-3 現在、お子さんはどのように過ごされていますか。(複数回答)



3-4 3-3で選んだことの現状について、どのように感じていますか。

ア. 満足している、不安はない 16件 (59.3%) …身体 1件、知的 7件、通所 2件、重複 6件

イ. 満足していない、不安がある 8件 (29.6%) …知的 2件、通所 4件、重複 2件

※ 無回答 3件 (11.1%)

【ご意見】「下校後や長期休暇時などのお子さんの過ごし方」について（自由記述・原文のまま）

長期休暇中、予約が思うようにとれない。利用時間が短く、特に朝始まる時間が遅い。
閉校になったところなどでスポーツなどができるようになればいいと思う。
放課後デイサービスに行っても、子どもの良いように過ごさせてしまい、宿題も終わらせずに帰ってくる。 （遊びはしっかり楽しんでいる。）
放課後児童クラブを強化してほしい。
備前市内の放課後学習や療育の充実施設を増やす。若しくは広げる。
近くに事業所がない（夏休みは長船のデイサービスに通いました。送迎があり助かりました。）。伊部にもあるが送迎がないので利用しにくかった。また、定員がいっぱいで、行ける日が3日しかなかった。
放課後デイの支援内容、人員配置など一定の質を確保してほしいと思います。もしくは放課後に通える療育センターを市内に設けてほしいです。放課後デイは18歳までが一か所に一緒というのも、子が小さいうちは不安です。
障がいのある、なしにかかわらず、一緒に過ごせる場所があったらよいと思う。
放課後デイサービスなど、市内に通える場所を作ってほしい。
放課後みて頂いているだけでもありがたいとは思っています。教室にマンガを置くのはやめてほしいな一 と思います。うちの子はずっと一人で読んでいるみたいなので…。

第四部：福祉サービスについて

4-1 お子さんは福祉サービスを利用していますか。または利用したことがありますか。

ア. 利用したことがある 21件 (74.1%) (⇒問4-2へ) …知的5件、通所8件、重複8件

イ. 利用したことがない 5件 (22.2%) (⇒問4-3へ) …身体1件、知的4件

※ 無回答 1件 (3.7%)

4-2 (問4-1「ア. 利用したことがある」) 福祉サービスを利用してどう思いましたか。

ア. 満足している 16件 (76.2%) …知的3件、通所6件、重複7件

イ. 満足していない 5件 (23.8%) …知的2件、通所2件、重複1件

4-3 それ(4-1で「福祉サービスを利用したことがない」と回答した)はなぜですか。

ア. 福祉サービスを知らない、またはよくわからない 1件 (20.0%) …知的1件

イ. 福祉サービスは知っているが、利用する必要がない 4件 (80.0%) …身体1件、知的3件

ウ. 必要性は感じているが、使い勝手や利用料の面などから利用していない。 0件 (0.0%)

【ご意見】「福祉サービス」について (自由記述・原文のまま)

利用時間が短く、親の就労時間も限られる。

ショートステイの利用できる回数が少ない。場所も限られ、利用もその施設を利用しているなど条件が厳しい。

サービスはあるが、地域にある事業所でサービスが行われていない。またはできる資格を持つ人がいない。

福祉サービスの内容については、まだよくわかりませんが、そういったサービスを提供してくださっていることについては本当に感謝しています。

通所施設が備前市内にもあると助かる。岡山市内まで毎日通うのが大変。

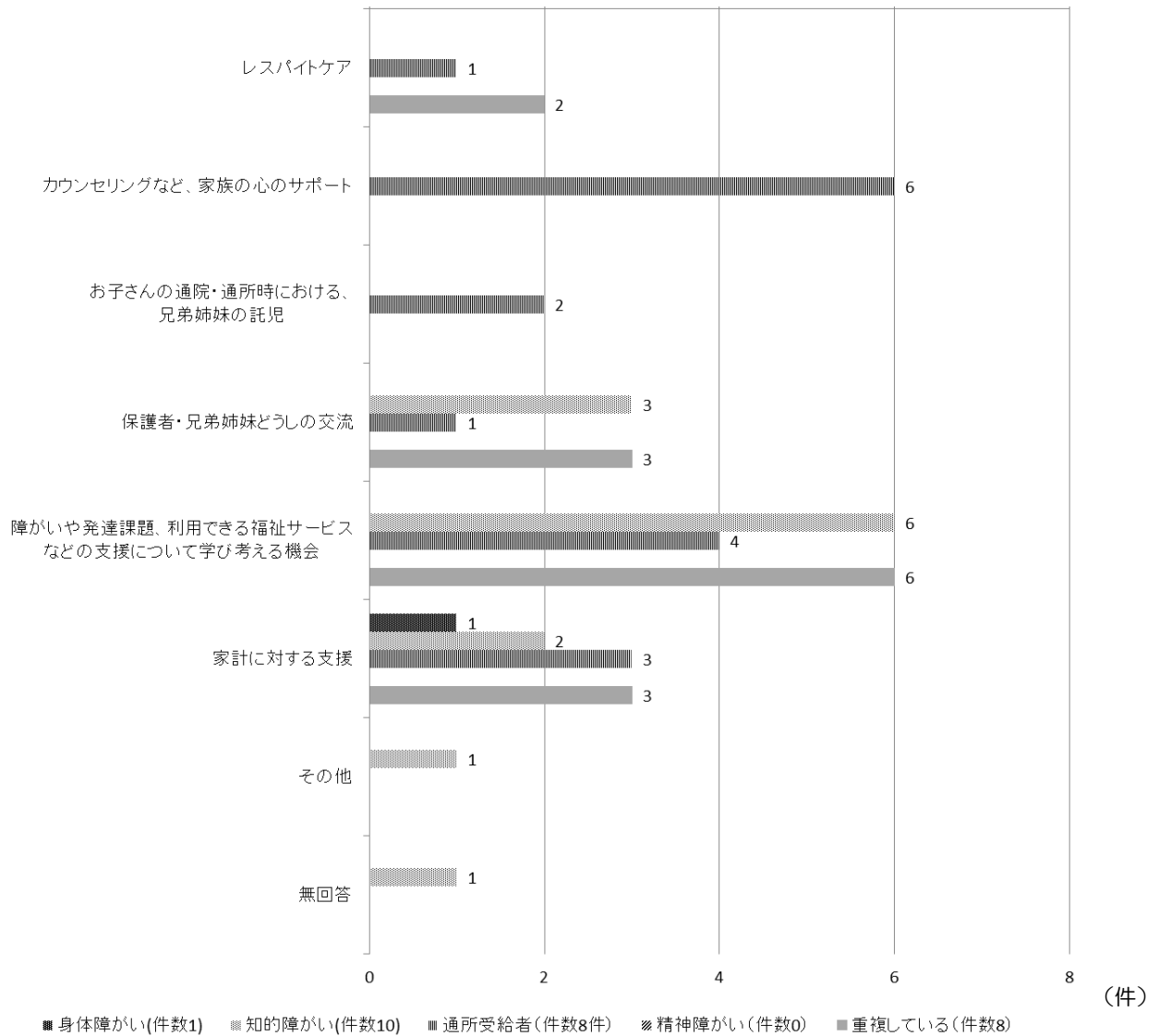
兄弟の長期入院で、私(母親)が家をあげたとき、登園・登校の支援がなく大変だった。

不測の事態が起きたとき、本当に必要な支援ができるように柔軟な対応は難しいものなのではないでしょうか？

近くに東備支援学校があるため、障害の程度に差がある児童らが一つの教室で放課後デイを受けるとなると、重度の子にやはり手がかかると思うため、自分の子や障害の程度の軽い子に満足な療育サービスが提供されているのかどうか疑問である。市役所の方からもそのあたりのことを事業者の方に確認してほしい。

第五部：ご家族への支援について

5-1 あなたを含むご家族に、どのような支援が大切だと思いますか。(〇は2つまで)



※その他：手軽に相談できる窓口、身近にレスパイトがあること（将来）

5-2 5-1で選んでいただいたことの現状について、どのように感じていますか。

ア. 満足している 6件(22.2%) …身体1件、知的1件、通所2件、重複2件

イ. 満足していない 16件(59.3%) …知的7件、通所5件、重複4件

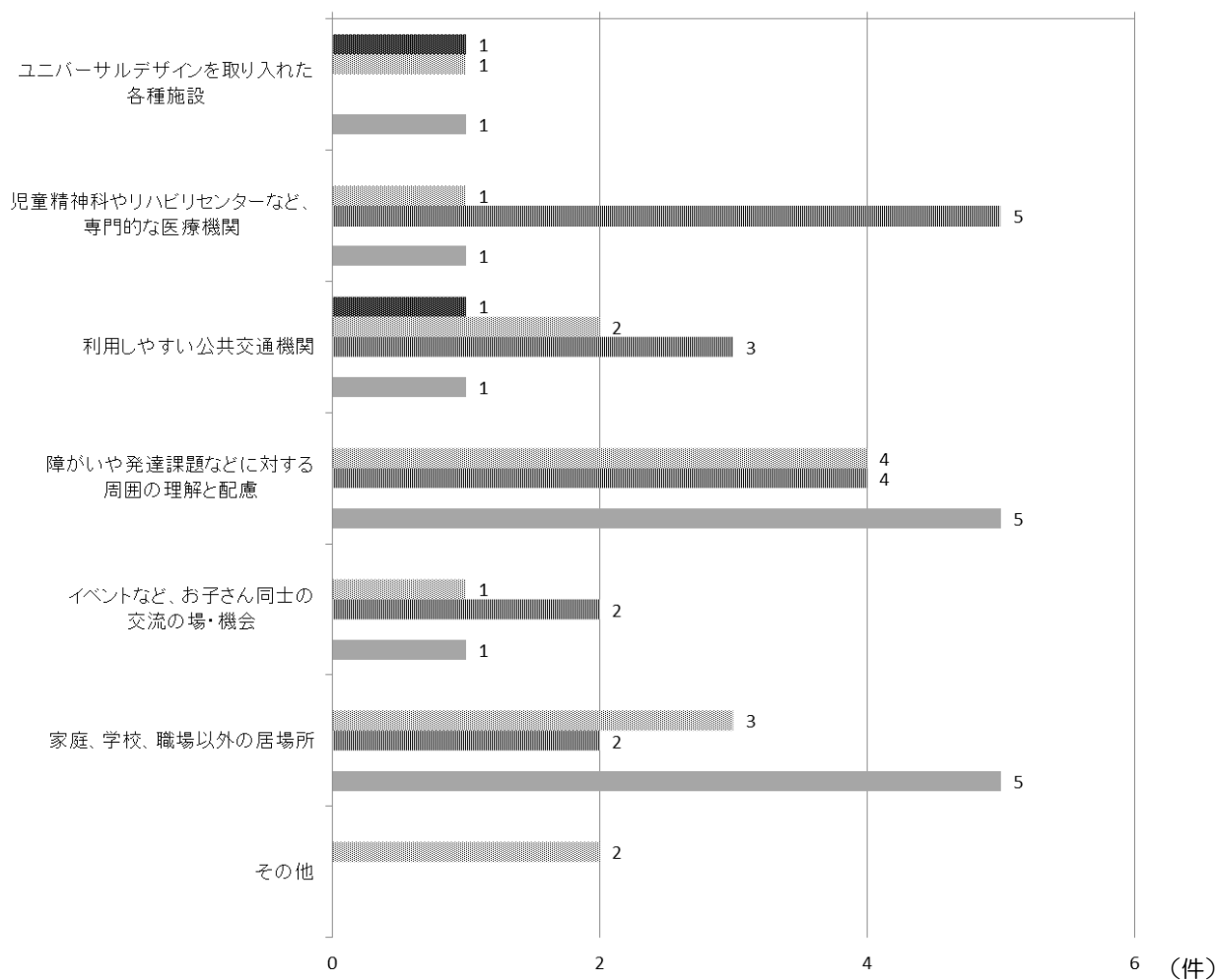
※ 無回答 5件(18.5%)

【ご意見】「家族への支援」について（自由記述・原文のまま）

<p>地域の差を感じる。学校を通じて家族の集いの案内も来るが、仕事をもっている親は参加できない。利用できないのが残念である。</p>
<p>どのような支援があるのかよく知らない。</p>
<p>障がい児への理解というのは、家族であってもすごく難しいことで、特に義父義母への説明や共通理解は、まず無理じゃないかなと思うので、家に来てくださる方がいればありがたいなと思います。病院や施設へ一緒に行けば説明してくれるといいですが、一緒に行くのはなかなかむずかしいと思います。</p>
<p>将来、近場でいろいろと利用していけたらと思う。それがなさそうで不安。</p>
<p>子どもの年齢がはなれている分、支援だけでは家計が難しい。特に入学等重なると、もっと早くに生活支援的なことはできないでしょうか。</p>
<p>岡山市内まで毎日通うと、体力的、家計的にも疲れてくる。</p>
<p>保護者のたてよこのつながりの場がもっとほしい。日常の悩みを気軽に話せる週1回くらいあいている相談室、交流室があるといいなあとと思います。</p>
<p>家族会や講演会などに都合がつかないこともある。（もしくは行きづらい。）SNSで交流・意見交換できれば気軽だなーと思います。</p> <p>通院等で休むことが多く、就労に支障（パートしかできない）がある。通学（登下校）につきそう必要があり、退職せざるを得ない。収入が減るのも困るのですが。</p>
<p>通院や通学など、家族が支援をするために就業できないケースもあると思う。また就業していても職場の理解や協力も必要な場合もあると思う。安心して支援できる体制が必要だと思う。</p>
<p>備前地域で発達障害についてのセミナーや講演会などあればいいなと思う。岡山市内まで出て行くのは大変なので…。</p>

第六部：その他の環境

6-1 お子さんが過ごす環境に、他にどのようなものが大切だと思いますか。(複数回答)



■身体障がい(件数1) ■知的障がい(件数10) ■通所受給者(件数8件) ※精神障がい(件数0) ■重複している(件数8)

※その他：障がい者も健常者とともに参加できるイベント、学校での過ごし方

6-2 6-1で選んでいただいたことの現状について、どのように感じていますか。

ア. 満足している 8件(29.6%) …知的2件、通所2件、重複4件

イ. 満足していない 17件(63.0%) …身体1件、知的7件、通所6件、重複3件

※ 無回答 2件(7.4%)

【ご意見】「その他の環境」について（自由記述・原文のまま）

<p>長期休暇中、予約が思うようにとれない。利用時間が短く、特に朝始まる時間が遅い。</p>
<p>現状は体が小さいため抱っこできるので問題ないが、大きくなったときに入れそうにないお店や、介助がないと乗れない交通機関が多く、本人にとっては行動範囲が限られてくるので、大変だろうと感じます。</p>
<p>ネットで流れている分にはかまわないが、必ずしもその子にあっていないと思えないのですが、子どもに合わせてとはいかないのでどうにかありませんか。</p>
<p>備前市のバスをたくさん利用したいと思うが、合う時間がないし本数が少ない。</p>
<p>学校の友人関係、理解をお互いしづらい。〇〇〇で大変です。（親からも偏見感じる。）やはり前述と同じく、理解しやすいことばで、その子を含めた全体として、一人一人の違いを認めたり、相手との違いも尊重する関係づくりに大人の仲介が必ず必要。その大人（思いを聞く。子ども同士へ伝え合う。）の存在が少ない。専門的に学び、余裕のある（先生方の仕事のみ負担の大きいので）職員をすべき。</p>
<p>マザースクールが小学生も利用できるとうれしい。現在A施設の言語と作業に行っているが、遠い上、個別で月2回だけです。マザースクールは集団でのルールの学べて、うたもたくさんあり、本当にすてきな療育の場でした。そのおかげもあり、我が子は小学3年生になって ことばが出はじめました。</p> <p>マザースクールでして下さっていたことが、今がいちばん適齢なのではないかと思います。子どもの発育具合に合わせて本当に必要な支援はなになのか、臨機応変に対応してほしいです。</p> <p>マザースクールのへやにあるたくさんの教材もつかわせてもらえないでしょうか？今になって使えるようになってきたのです・・・</p>
<p>バスで駅まで行ってもらいたいが、バスの時間と電車の時間が合っていないので不便（1～2時間待ちになることがある）バスが電車の時刻と合うようにして頂ければ助かります。（朝、夕だけでも）</p>
<p>習いごと（音楽やスポーツなど）を通して、得意なことやうちこめるもの、自信につながるものが見つかれば…という思いはありますが、心身に障がいがある子が入れるのか、入ってもついてゆけず迷惑をかけたり、親子ともつらくなるのでは、と思うとどこにも参加できません。今は発達障害に理解があると聞いた県外の体操教室に通っていますが、もっと近くに、受け入れてくれるクラブなどがあるのか分かりません。</p>
<p>個々の困り感というのはそれぞれちがうのでむずかしいとは思いますが、障がいのある児が社会に合わせるための訓練も必要だと思うけれども、社会全体も理解や配慮が必要だと思う。</p>
<p>障がいや発達課題について、自分の子どもや近親者にこういう人がいないと中々理解は進まないと思います。小学校の支援学級内でさえ、保護者同士の交流はほとんどない。</p>

第七部：その他

その他ご意見やご要望（自由記述・原文のまま）

「今」も大切ですが、多分「今後」の事への不安が大きい方がほとんどだと思います。「園→小学校→中学校→高校→就職・大学」この流れについてもっと知りたいです。他の子どもさんたちがどのように進んでいったのかなど、わが子と同じような悩みをもってがんばっている子どもさんたちがどんなふうに成長していったのかなど、聞けると、それによって不安も大きくなるかもしれないけど希望が持てたり、プラスになる事もあると思います。昔に比べると理解されるようになってきていると感じますが、まだまだやりにくい部分がたくさんあると思うので、少しでもよくなることを願っています。いつもありがとうございます。

指導員を増やしてほしい。学童の親との場所を作ってもらって話し合いをしてみたい。

小学校へ行くための相談等、初めてのことでお互い大変だったので、精神的にも時間を作るのもしんどかったです。（2年前から動いていたのに…。）中学校への準備の時は、もっとスムーズだといいなと思っています。（教育委員会への要望なので関係ないですかね。）最近手続き等で大変お世話になっています。私も慣れてきて、スムーズなので助かっています。これからもよろしくお願いします。

子どもは車いすで生活していますが、2台目の許可が通りません。リハビリ施設で相談する限り、A市内の障がい者の方々はほぼ申請が通って2台持っている方が多いそうです。原則1台というのは理解しておりますが、車いすというのは健常者でいう「靴」と同じだと思います。バリアフリーの家を建て、防じん防水マットを敷きつめても、家の中には土が上がります。雨の日などは外で濡れながら泥を洗い流さなければなりません。自費で買うことも考えましたが、修理費用の補助も出ないし、家計の問題もあり断念しました。市町村により、このような対応の違いがあるのはなぜでしょうか？それだけ違いがあるのはとても不公平だと思います。

備前市は支援サービスが遅れていると思います。子どもの人数が少ないので、クラス替えがない分、逆に排他的空気もつくりやすい。おかしく見える行動へ、他県からの視点はやさしさ、思いやりが育っていない面も見られます。冷たい。それには大人の仲介が必ず必要なので、ほっておいて（見守りともいうが）子ども同士のみでは理解は十分にできない。（見た目の行動や突拍子ない行動は誤解されます。）そのための支援員やわかってくれる大人、子ども同士をつなぐ人が必ずいる。職員も忙しく負担が大きいので（人数に余裕がない）スクールカウンセラーなど、他市は配置されているのですが備前市は????発達支援員の増加が必要です。子ども一人一人の育ちや思いやり、相手の立場に立って、お互い支えあえる環境づくりは大人としての責務であり、希望です。どんな輝く子どもでも、自尊心を失ってしまうきっかけが子ども同士のからかいやそれへの黙認、いじめです。障がいがあるだけで、すばらしさをくもらせてしまう。まわりにそう見られてしまうことや才能がくすんでしまいます。みんなが認め合えることが安心できる環境（それは障がいに関係ない、全員）そのための環境づくりは必須。ぜひお願いします♡

検診の時、小児科の先生、歯科の先生に腹が立つ一言を言われ、保健師さんは電話しますと言うだけで電話なし。所詮みんな障がい児、病児の保護者に寄り添うことどころかひとごと。このアンケートで少しでも変わればと思います。

このような形で意見をすくいあげて下さり、感謝しています。ありがとうございます。

子どもたちが大人になったときに、親の手をかりずに生き生きと笑顔で過ごせる環境を残してあげられるかというのが、親にとっては一番大きな課題でもあります。していただくばかりでなく、私も力になりたいです。どうぞよろしくお願いします。

前にも書きましたが、備前市内に放課後デイサービスや長期の休みに通えるような場所がほしい。苦手な事やものなどを、遊びながら学べる、親も安心してまかせられるような施設。